

# ECPR 22年間を振り返って

(公財)えひめ地域政策研究センター 所長 脇水 宏



## [要 旨]

はじめに

- 1 えひめ地域政策研究センター (ECPR) の概要
  - 2 設立経緯
  - 3 22年間の歩み (沿革)
  - 4 主な事業
  - 5 刊行物
- おわりに

## はじめに

公益財団法人えひめ地域政策研究センター (ECPR Ehime Center for Policy Research) は、今から22年前の平成12年 (2000年) 4月1日、独自の事業展開によって地域の活性化に多大な成果を上げてきた財団法人愛媛県社会経済研究財団と、財団法人愛媛県まちづくり総合センターの両財団を発展的に解散・統合することにより設立された。

これにより、財政基盤を安定化させるとともに、民間を中心とした人材の補強を図り、培ってきたノウハウを更に高め、愛媛県における地域政策研究機能の強化と、個性的で魅力ある地域づくりを推進しようとするものであった。

公益法人制度改革関連3法の施行を踏まえ、平成24年 (2012年) 4月から公益財団法人へ移行して10年目を迎えている。

ECPR発足後22年目となった令和3年 (2021年) 度においては、地域課題の解決を牽引するなど現状に即した組織への進化を図るべく、事業の再編等に向けて、所管課である愛媛県企画振興部政策

企画局地域政策課と年度当初から毎週協議を行った結果、ECPR再編に当たっての3つの問題意識がまとまり、それぞれの再編方向を整理したところである。

ECPRは令和4年 (2022年) 4月から、現場と伴走して地域課題の解決に積極的に関わることをはじめ、移住促進や交流人口拡大の取組みの重点化、更には地域の活力創造に寄与することを目指して、組織の名称も「公益財団法人えひめ地域活力創造センター」へ変更される予定である。

本稿では、えひめ地域政策研究センターとしての22年間を振り返り、ECPRの概要をはじめ、設立経緯、22年間の歩み (沿革)、主な事業、刊行物について取りまとめてみた。

## 1 えひめ地域政策研究センター (ECPR) の概要

### (1) 設立目的

地域政策やまちづくりに関して総合的に調査研究を行い、その成果を広く公表するとともに、意識啓発、人材養成、活動支援及び交流促進等を行